

講座名	歯科放射線学	
主任教授	後藤多津子	
プログラム責任者名	後藤多津子	
プログラム修了時に資格要件を満たす学会認定医等の名称	日本歯科放射線学会 准認定医、認定医、専門医 日本顎関節学会 認定医、専門医 PET核医学歯科認定医、口腔放射線腫瘍認定医	
プログラムの特色		
歯科放射線学は近年は画像診断学と呼ばれ、臨床医として、歯・歯周組織から顎顔面・頸部、場合によっては全身を対象とした病気の診断に携わります。また、核医学、放射線生物・防護、放射線治療などの専門分野のプロフェッショナルとしての発展も可能です。さらに画像診断を通じ、様々な分野（歯学部各科、他学部、企業）と共同で臨床や研究を行います。こうして数多くの認定医、専門医そして指導医取得へのステップアップが期待できます。歯科放射線専門医は広告できる専門性資格です。医学放射線および一次救急研修も行います。		
プログラムの内容		
入局後	大学院生	臨床専門専修科生・レジデント
1年目	臨床研修 ・ 画像診断研修 （単純X線画像ならびにCT、CBCT、MRI、超音波検査、造影検査等のadvanced imaging の読影報告書作成を指導教員のもとで行う。） ・ 撮像技術研修 （上記各画像検査法を習得する。） ・ 造影技術ならびに造影剤副作用への対応研修 ・ 医学放射線および一次救急研修 教育 ・ 講義や臨床実習への参加 ・ 症例検討会 ・ 関連学会、勉強会 資格 ・ 日本歯科放射線学会准認定医受験資格取得 大学院 ・ 学位論文のための倫理審査申請および研究開始	臨床研修 ・ 画像診断研修 （単純X線画像ならびにCT、CBCT、MRI、超音波検査、造影検査等のadvanced imaging の読影報告書作成を指導教員のもとで行う。） ・ 撮像技術研修 （上記各画像検査法を習得する。） ・ 造影技術ならびに造影剤副作用への対応研修 ・ 一次救急研修 教育 ・ 講義や臨床実習への参加 ・ 症例検討会 ・ 関連学会、勉強会 資格 ・ 日本歯科放射線学会准認定医受験資格取得

2年目	<u>臨床研修</u> ・ 画像診断研修 ・ 撮像技術研修 ・ 造影技術ならびに造影剤副作用への対応研修 ・ 医学放射線および一次救急研修 <u>教育</u> ・ 講義や臨床実習への参加 ・ 症例検討会 ・ 関連学会や勉強会 <u>大学院</u> ・ 学位論文のための研究継続	<u>臨床研修</u> ・ 画像診断研修 ・ 撮像技術研修 ・ 造影技術ならびに造影剤副作用への対応研修 ・ 一次救急研修 <u>教育</u> ・ 講義や臨床実習への参加 ・ 症例検討会 ・ 関連学会や勉強会
3年目	<u>臨床研修</u> ・ 画像診断研修 ・ 撮像技術研修 ・ 造影技術ならびに造影剤副作用への対応研修 ・ 医学放射線および一次救急研修 <u>教育</u> ・ 講義や臨床実習への参加 ・ 症例検討会 ・ 関連学会、勉強会 <u>資格</u> ・ 日本歯科放射線学会認定医および 日本顎関節学会認定医受験資格取得 <u>大学院</u> ・ 学位論文のための研究継続	<u>臨床研修</u> ・ 画像診断研修 ・ 撮像技術研修 ・ 造影技術ならびに造影剤副作用への対応研修 ・ 一次救急研修 <u>教育</u> ・ 講義や臨床実習への参加 ・ 症例検討会 ・ 関連学会、勉強会 <u>資格</u> ・ 日本歯科放射線学会認定医および 日本顎関節学会認定医受験資格取得

4年目	<u>臨床研修</u> ・ 画像診断研修 ・ 撮像技術研修 ・ 造影技術ならびに造影剤副作用への対応研修 ・ 医学放射線および一次救急研修 <u>教育</u> ・ 講義や臨床実習への参加 ・ 症例検討会 ・ 関連学会、勉強会 <u>大学院</u> ・ 学位論文審査	<u>臨床研修</u> ・ 画像診断研修 ・ 撮像技術研修 ・ 造影技術ならびに造影剤副作用への対応研修 ・ 一次救急研修 <u>教育</u> ・ 講義や臨床実習への参加 ・ 症例検討会 ・ 関連学会、勉強会
5年目	・本務教員採用	
6年目以降	<u>資格</u> ・ <u>日本歯科放射線学会専門医および</u> <u>日本顎関節学会専門医受験資格取得</u>	

●本務教員で認定医等の有資格者
 （指導医・専門医・認定医等の複数の資格の場合には最上位の資格のみを記載）

日本歯科放射線学会 指導医：後藤多津子、音成実佳 専門医：佐藤仁美、和田大岳 認定医：小高研人、井上綾 日本顎関節学会 指導医：後藤多津子、音成実佳
--